

私には投票資格がありますか？

投票資格についての規則は、州によって多少異なりますが、一般的には下記が義務付けられています。：



米国の市民権を持っていること



選挙投票を希望する地域に居住していること（時には最低居住期間）



最低18歳以上であること（18歳未満の市民に、特定の地方選挙または予備選挙に登録・投票を許す地域もあります。）

全ての州ではありませんが、中には、重罪判決、司法判決、またはその他の措置の対象になった履歴のある人は、投票資格を失うという州もあります。投票資格について確認する必要がある方は、居住している州あるいは地元の選挙管理当局にお問合せ下さい。地元の選挙管理当局の連絡先は、www.vote.govにてご確認いただけます。



投票するには何が必要ですか？

ほとんどの州において、有権者は投票をする前に、あらかじめ選挙人登録をしなければなりません。お住まいの州における、登録期限などの情報は、下記のウェブサイトをご参照下さい：

www.eac.gov/vote.



多くの州において、オンライン上で選挙人登録の手続きをする事が認められています。地元の選挙管理当局に自ら出向いて登録する事や、署名した選挙人登録票を郵便で返却する事も可能です。州ごとの指示および選挙人登録票は、下記のウェブサイトをご覧ください。登録票の書式は、21か国語に翻訳されています：www.eac.gov/voters/national-mail-voter-registration-form.



投票手続きについてのご質問は、地元の選挙管理当局にお問合せ下さい。

選挙投票についての公式な情報を提供する、最も信頼出来る情報源は、州および地元の選挙管理当局です。選挙人登録の状況確認および投票日や投票場についての情報は、地元の選挙管理当局が提供してくれます。場合によっては、投票用紙のサンプルや、投票対象となる候補者および案件などの情報も提供してくれるかもしれません。

投票時には何が 予測出来ますか？

現場投票



投票場を訪れる前に、あなたに割り当てられた投票場がどこかを確認し、あなたの州では投票場が何時に会場するのかチェックしておきましょう。

投票場では、まず投票立ち合い人のもとで、あなたに投票用紙を受領する資格がある事を確認してもらわなければなりません。州によっては、投票用紙を受領する前に、政府発行の写真付き身分証明書を提示しなければならないところもあります。

郵便投票

州によっては、郵便で投票用紙を受領する資格を与えられる可能性もあります。



地元の選挙管理当局に問い合わせ、どうしたら投票用紙を郵便で受領できるか、投票用紙はいつでもどこへ返送するのか、さらにその投票用紙をどう郵便追跡するのかについて確認してください。

投票の際の支援要請をする事も出来るかもしれませんが、有権者は誰でも、アクセス可能な投票装置を使用して投票する事が出来ます。また、英語以外の投票用紙や選挙関連資料を用意している管轄地域もあります。

私に出来る事はありますか？

全ての有権者が、選挙が確実に、公正、正確、かつ安全に行われるよう支援する事が出来ます。下記に挙げるのは、そのいくつかです：



有権者になったら、素早く選挙人登録をする。



選挙人情報を常に更新しておく。氏名、住所、所属政党に変更があった時は、地元の選挙管理当局に連絡する。



選挙投票の手順に関する情報は、信頼できる情報源から確認する。

最後に、最も役立つのは、投票立ち合い人のボランティアとなって支援していただく事です。選挙は、何万人にのぼる、皆さんのようなコミュニティ・ボランティアの人々を頼りとしています。地元の選挙管理当局に、お住まいの地域ではどのようなボランティアのチャンスがあるのか問合せみて下さい。それぞれの州における情報は、こちらから：

<https://www.eac.gov/help-america-vote>.



アメリカ合衆国選挙支援委員会

633 3rd Street NW, Suite 200 | Washington, DC 20001
www.eac.gov



選挙投票 101

新規有権者のための選挙情報



アメリカ合衆国選挙支援委員会

633 3rd Street NW, Suite 200 | Washington, DC 20001
www.eac.gov